

月

NEXT STAGE

火

開発 デザイン

水

調達 物流

木

製造

金

販売 サービス

土木地質社長

橋本 岳社氏

土木地質（仙台市泉区、橋本岳社社長、022・375・2626）は、地中熱を利用した冷暖房システム事業に力を入れている。主力の地質調査、ボーリング技術を生かして施工コストの削減に成功した。橋本社長に事業化の狙いや今後の展開を聞いた。

（仙台・田畑元）

「地中熱事業に参入したきっかけは、「東北大学の依頼で、地下水を活用した高効率の地中熱システム開発に協力した。当初は掘削のみだったが、本業のノウハウが活用できるとわかり、事業化した」

「地中熱冷暖房シス

透水性高い素材で効率向上



地中熱冷暖房システム

新分野に
売って出る

テムの設置件数が増え、交換効率も悪かった。ですが、強みは、交換効率も悪かった。通常は井戸に熱交換チューブを挿入し、地面と熱を交換する。井戸内の充填剤に

短くなり、工事費用も低減できる」

「斜め掘削工法が特徴的です。」

「この工法だと、井戸を地下水に向けて掘って掘れる。東北地方なら、蓄積した地質調査データを使って、水脈の位置も予測できる」

「大きい施設では複数の井戸が必要となるが、間隔が狭いと排出熱で効率が悪くなる。斜めに掘れば、地下でチューブ間の距離が開いて熱干渉が少なくなり、地上の施工面積も小さくて済む」

「今後の展開は。「地中熱システムの仕事は各工程ごとに事業者があり、費用がかさむ。計画から施工まで一貫して請け負える事業者を目指し、差別化したい」

斜め掘削工法（自社敷地内に地中熱冷暖房システムを導入するための熱交換井を掘削する）